

1 幼稚園の教育目標

- ① 子どもの生活の質を上げて保育活動の充実を図る。
- ② 教員研修の充実を図り、その成果を保育に反映させる。
- ③ 幼児教育の重要性を地域等に発信をしていく。

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- ①子どもの体験を重視した保育活動の充実を図る。
- ②地震津波防災対策のための情報収集を行い避難訓練の内容の充実を計る。
- ③地域小学校、中学校との連携をさらに高める。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

（※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）で表す。） 評＝評価点

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評	幼稚園としての反省と改善策	評	意見
保育の計画性	あそびを中心とした保育計画がなされているか？ 年間の保育の流れが子どもの発達に沿っているか？	B	保育計画の打ち合わせが、保育活動の内容をどのように進めて行くのか？というHow to的なものになっていってしまうところがあり、その目的やねらい、活動の意図などが十分に捉えられないままになってしまっているところがある。この時期のこの保育の意味や意義を教育課程を再度整理することでの確化していきたい。	A	教育課程の再整理となると、大変になると思うが、是非取り組んでもらいたい。
保育のあり方 幼児への対応	ひとりひとりの園児の園生活の質を高める取り組みがなされているか？ 個々の子どもへの関わりが適切に行われているか？	A	園児個々の問題や課題について、教師間での話し合いや課題の共有ができて、気になる子への対応が充実していたと思う。まだ、教員個々の課題はあるが、勉強を積み重ねていきたい。	A	保護者との面談でも、よい結果が出ているようで安心した。愛着形成をベースにした子どもと先生との関わりをさらに、充実させて欲しい。
教師としての 資質や能力・ 良識・適性	人間性を高めるための勉強ができているか？ 保育者として成長できるような教員相互の関係ができたか？	A	教師間の連携や相互理解があり、新任教師の成長として結果が手たことは、とてもよかったと思う。また、東京芸大、お茶の水大の附属幼稚園への見学研修での成果を今後につなげていきたい。	A	新任の先生の真摯な取り組みについて、報告を受け、人材育成の難しさを理解した。大変さはあると思うが、諸先輩の指導を受けて、よい先生になって欲しい。
保護者への 対応	保護者との面談が、充実したものとなっているか？	A	保護者の方々へ、園でどんなことを考えて、どんな保育活動を行ったり、どんな子どもへの接し方をしているのかについて、園のプリントやhome page、Facebook等で情報発信をしていくことを意識していきたい。	A	保護者と子育てを市と押して結びついていくことを大切にしたい取り組みをこれからも推進してほしい。
地域の自然や 地域とのかか わり	自然環境を生かした保育活動が行われているか？ 地元自治会との協力関係が出来ているか？	B	現予定では、この春に防潮堤が完成するので、これまで、行うことができなかった松林や砂浜での活動を充実させていきたい。 現在行われている芋苗植えから芋掘りへの活動が、地域の農業をされている方々の高齢化もあり、継続が危惧されている。この活動が続けられるように情報の取り込みと検討をしていきたい。	B	松林や砂浜での活動は、積極的に取り組んでほしいが、地震津波への対策も行っていくようお願いしたい。が、少なくなるようなことがないよう、
研修と研究	子どもと保育者の関係性について、積極的に研修を受ける。 研修会、他園の見学を積極的に行う。	A	今年度は、東京芸大附属幼稚園、お茶の水大附属こども園への保育見学研修に参加した。あすなろ独自の保育の質、その意味や意義などを才覚にすることができて、よかったと思う。また、独善的なものにならないように、外へ出での研修を行ってきたい。	A	保育所には入れないことばかりが話題となる昨今、保育の質を高めていくということに、関心が向くべきだと思うが…
外部 アンケート	保護者の学ぶ姿勢を援助できたか？	B	子育て相談で、相談しにくさを感じている保護者が約6名。面談の内容にやや不満がある保護者が1名いる。担任との関係がその裏にあると思われる。	A	満足いく結果と評価してよいと思うが、保護者にとって耳の痛い話は、聞きたくないという保護者もいるだろうが、子どものために保護者とよりよい関係ができるように努めてほしい。